

皆さんの税金

その使い道

平成17年度
予算



新聞やテレビなどでよく耳にする予算。
大学4年生の菊池太郎くんは、自分が住むまちの税金がどのように使われているのかを勉強しようと、菊池市役所の財政担当者に、その使い道などを聞いてみました。

●消費税やたばこ税、自動車税など、僕たちが支払った税金はどのように使われているのかを知りたいのですが。
●菊池市では、皆さんから納めていただいた税金などを計画的に、効率よく使うために「予算書」を作っています。
●そのうえ「今年度の予算が決まりました」と新聞やテレビでよく耳にしますね。
●予算書は、入るお金と使うお金を項目ごとに分けて整理しているものです。

通常では、新しい年度が始まる4月1日より前に議会の承認を受けなければいけません。でも、今年は4つの市町村が合併して新しい市が誕生したことから新市長が4月1日以降に決まったことなどで、7月にあった定例議会で平成17年度の予算が承認されました。

●なるほど。予算をたてて計画的に使うんですね。
もっ少し詳しく予算の中身を教えてください。

●まずは、表1の歳入から見ていきたいと思います。
市民の皆さんから納めていただく市民税や固定資産税、軽自動車税、たばこ税などの「市税」を約45億8,000万円と市の財政状況に応じて国から配分される「地方交付税」を約72億円などそれぞれ入ってくるお金を見込んでいます。
●なるほど。5月に支払った僕の軽自動車税は市税になるんですね。

●予算の内容をグラフにしたのが下の表1と表2です。家庭の家計と同じように入るお金「歳入」と、使うお金「歳出」があります。
予算総額は、233億5,300万円と、去年の旧4市町村の予算総額を合計した額に比べると2・6パーセントの減になっています。

入るお金

歳入

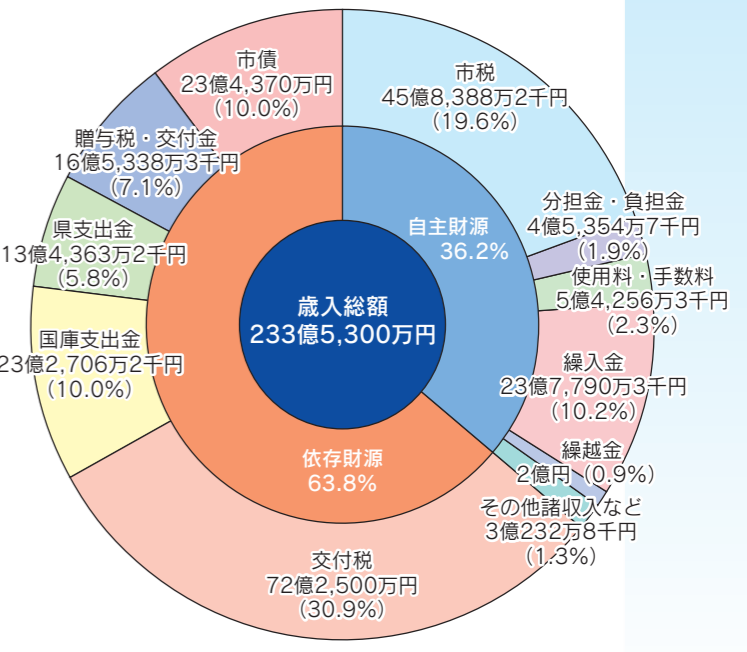


表1 歳入

平成17年度 予算

●三位一体の改革や行政改革などをよく耳にしますが、菊池市にも何か関係があるのですか。
●菊池市の今回の予算は、新市誕生後初めての本格予算となりました。

依然 国からの国庫補助金の削減や地方交付税の縮減、税源移譲のいわゆる「三位一体の改革」で地方負担増の影響がでてきます。

●少子高齢化の進展や社会保障費の増大に加えて、新市建設計画に掲げる施策を推進するため、合併交付金や合併特別債な

どを有効活用し、限られた予算を重点的、効率的に配分して市民の皆さんに身近な行政サービスを進めていきます。

使うお金

歳出

●次は表2の歳出です。歳入額が減少するということは、歳出額も減少することになります。物件費や人件費などの見直しで、徹底した経費削減を行っています。地域活性化につな

●最も多いのが「民生費」で、老人福祉事業や保育所の運営費などに使われています。
●「福祉向上のための費用」ということですね。
●次に多いのが「総務費」で、毎月届く「広報きくち」の作成や選挙などの費用に使われています。

●そして、市道や排水路、公営住宅の建設や管理などを行う「土木費」、市の借金を返す「公債費」、農家の人が農業をしやすくするための「農林水産業費」があります。

●他にも、乳幼児医療費などの「衛生費」、市内の小・中学校の管理や給食費用などの「教育費」、火災などの災害から私たちを守ってくれる消防団活動などに使われる「消防費」などがあります。
●今まで難しくそう、考えたこともなかった予算について、少し分かったような気がします。

●これまで紹介した、平成17年度の詳しい予算書は、菊池市役所財政課で閲覧することができます。
●問い合わせ先
財政課 ☎ (25) 1111

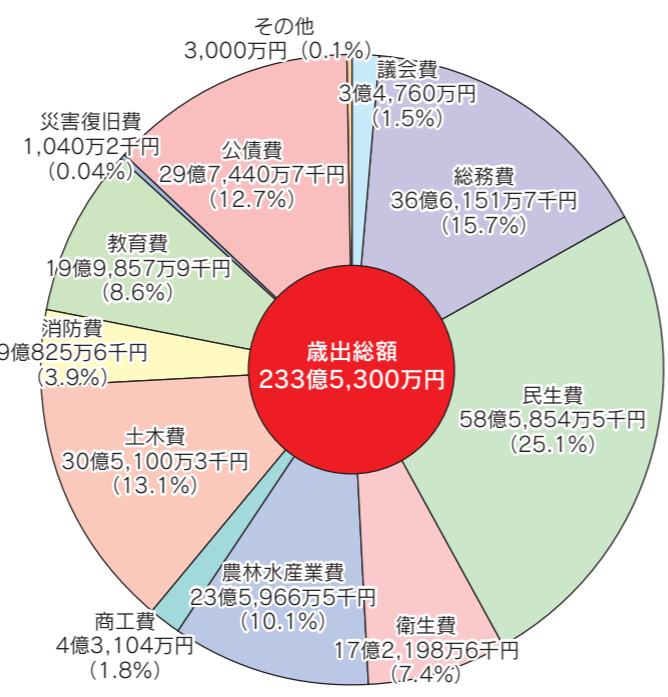


表2 歳出

- 議会費 議会運営のための経費です。
- 総務費 市の行政、財産、選挙、企画、税の徴収、窓口業務などの経費です。
- 民生費 市民皆さんの福祉向上のための経費です。
- 衛生費 ごみ処理や健康づくりなどのための経費です。
- 農林水産業費 農林業の振興のための経費です。
- 商工費 商工、観光の振興のための経費です。
- 土木費 道路や橋、河川、公営住宅などの整備の経費です。
- 消防費 菊池広域連合消防本部への負担金や消防機材などの整備の経費です。
- 教育費 学校教育や生涯学習などの経費です。
- 災害復旧費 自然災害などの復旧をするための経費です。
- 公債費 市の借金（市債）を返済する経費です。